



向井ちひろ市議会通信 NO.38

## 篠山養護学校創立50周年

昨秋、「ささよう」の愛称で親しまれている篠山養護学校の創立50周年記念式典に出席させて頂きました。

「ささよう」は昭和49年(1974年)、人口わずか2万4千人の篠山町で、全国でも珍しい町立の養護学校としてスタートしました。当時の校長、教育行政、そして保護者の皆さまの多大な情熱や尽力があり、今日に至っていることをあらためて知ることができました。私自身、教育実習や臨時職員としてお世話になり、その経験や出会いが今の議員活動にもつながっています。また、開校当時は14名であった児童・生徒が現在では60名となっています。

生徒数の増加に伴う施設整備や教職員体制、医療的ケア児への支援、ひとり一人に寄り添った特別支援教育等、さまざまな課題があります。「ささよう」を丹波篠山の教育のまんやかにした議論をこれからも行っていきます。

## 認知症サポーターとキッズサポーター

丹波篠山市ではキャラバンメイト(認知症について研修を受けた講師)により、企業や自治会等を対象にした認知症サポーター養成講座、小中高校生を対象にしたキッズサポーター養成講座を行っています。

認知症は脳の病気で、65歳以上の5人に1人はその症状があると言われています。しかし、記憶や認知機能が衰えても、周囲の人の少しの助けで、その人らしく従来の生活を続けていくことができます。私もキャラバンメイトに登録しており、先日は市内小学校のキッズサポーター養成講座を行い、子どもたちの理解力や共感力の豊かさに感動しました。

今後、人口減少とともにますます高齢化は進んでいき、支える人たちは少なくなっていくと思います。市民ひとり一人が認知症を理解し、子どもから高齢者までがゆるやかに支えあえる福祉のまちづくりに取り組みます。

認知症サポーター養成講座の申込みは市役所長寿福祉課(079-552-5346)

## 皆さまから寄せられた声に取り組んでいます

\*通学路に歩道がなく、車の通行も多い。付近では大きな建設物の工事中でもある。

子どもたちの安全対策に努めてほしい。(保護者)

→通学時の様子を確認し、学校や教育委員会に伝えました。現在、歩道等を設置する予定はありませんが、様子を見ていく、とのことでした。(教育委員会)

\*獣がい柵が古くなり、効果がない。もっと手厚い支援をしてほしい。(農家)

→新年度に向けて検討していきます。(森づくり部)

\*ささやま医療センターに通院しているが、受診している科が3月で終了すると言われた。

これからどうなっていくのか?(市民)

→ささやま医療センターについては、兵庫医大との協定締結期限が7月のため、現在協議中です。(保健福祉部) 議会でも特別委員会を設置して調査しています。

### 視察・研修などを行いました

- ・重層的支援体制整備事業研修会 (愛知県稲沢市の取組みについて)
- ・阪南市議会議長会

### 地域での催し等に出席しました

・ふくし用具展示体験会	・篠山養護学校創立 50 周年記念式典
・篠山重要伝統的建造物保存地区選定20周年記念事業	
・地区福祉会議	・市民センターまつり
・城東保育園・かやのみ幼稚園 あり方検討会	
・消防団年末警戒	・新年賀詞交換会
・新春駅伝大会	・青野原駐屯地新春互礼会
・連合北部新春旗開き	・歴史文化まちづくりフォーラム
・食育推進大会	・福住事業協働組合認定証交付式

\*この他にも地域や団体に出向き、皆さまのご要望、ご意見等をお伺いしています。

\*ぜひ、小さな集まりにお声かけ頂き、皆さまの思いをお聞かせください。

#向井ちひろ #向井ちひろと千の声 SNSで日々の活動を発信しています。



向井ちひろ (丹波篠山市議会議員 副議長 会派「福祉と教育」)



千の声 No.38

2025年2月発行(偶数月第1土曜発行)

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前 315 番地 3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

HP mukaichihiro.org

メール info@mukaichihiro.org